

第1回 高効率な資源循環システムを構築するためのリサイクル技術の研究開発事業
(低温焙焼等によるリサイクル製錬原料の高品質化技術の開発)

終了時評価検討会

議 事 要 旨

1. 日 時 2021年12月16日(木) 13:00~14:30

2. 場 所 オンライン開催

3. 出席者

(検討会委員) [敬称略・五十音順、※は座長]

坂井 敏彦	日本鉱業協会 理事 技術部長兼環境保安部長
桜井 文隆	一般社団法人日本メタル経済研究所 主任研究員
※芝田 隼次	関西大学 名誉教授
中島 謙一	国立研究開発法人国立環境研究所 資源循環領域 国際資源持続性研究室 主幹研究員

(研究開発実施者)

橋本 晃一	(独) 石油天然ガス・金属鉱物資源機構 資源開発部 技術課 課長
古谷 尚稔	(独) 石油天然ガス・金属鉱物資源機構 資源開発部 技術課 担当調査役
榊原 泰祐	(独) 石油天然ガス・金属鉱物資源機構 資源開発部 技術課 課員

(事務局)

資源エネルギー庁 資源・燃料部 鉱物資源課	
課長	小林 和昭
課長補佐	千葉 明
係長	大串 尚平

(評価推進部署)

産業技術環境局 研究開発課 技術評価室	
研究開発専門職	横瀬 栄二

4. 議事概要

(1) 開会

委員の互選によって、芝田委員が本検討会の座長に選出された。

(2) 研究開発評価に係る委員会等の公開について

事務局から、「資料2 研究開発評価に係る委員会等の公開について」により、評価検討会の公開について説明がなされた後、本評価検討会について、会議、配布資料、議

事録及び議事要旨を公開とすることが了承された。

(3) 評価の方法等について

評価推進課から「資料3 経済産業省における研究開発評価について」により、事務局から「資料4 評価方法(案)」、「資料5 評価コメント及び評点票」、「資料6 技術評価報告書の構成(案)」により、評価の方法等について説明がなされ、了承された。

(4) 事業の概要について

事務局及び実施者から、「資料7 評価用資料」及び「資料8 補足説明資料」により、事業の概要について説明がなされた。

主な質疑等は以下のとおり。

- ・選別処理後の基板を原料とした場合の製錬所のCO2削減効果について、委員から原単位と年間排出量の数字に齟齬があるのではないかとの質問があり、研究開発実施者から銅生産量1kg当たりのCO2排出量の数字が誤記であったとの回答があった。(本件については、資料を修正し、12/16付けで経産省HPの掲載資料も差し替えた)
- ・委員から実用化に繋げていくための計画に関する質問があり、研究開発実施者から現在継続して実施している研究の成果等を活用することで実用化に繋げていく考えとの回答があった。
- ・研究成果の他分野への適用可能性等について委員から質問があり、研究開発実施者から本研究は廃基板を銅製錬所でリサイクルすることを前提に行ったものでありそこから大きく離れた他分野への準用や転用は難しいと考えられるが、製錬忌避元素の挙動に係る研究成果等は、他の分野でも活用できる可能性があるとの回答があった。

(5) 閉会

「資料5 評価コメント票」の提出期限を令和4年1月17日とすることを確認した。また、第2回評価検討会の開催時期の予定について説明した。

以上

お問合せ先

資源エネルギー庁 資源・燃料部 鉱物資源課

電話：03-3501-9918